

# 避難の先を見据えて

## 第3回行政区ワークショップ

村では、避難解除後の地域づくりや土地利用計画を検討するため、ワークショップによる行政区の話し合いを進めています。1月20日から23日にかけては、第3回行政区ワークショップを、飯野出張所で行いました。



復興計画第4版では、村に「戻りたい人」「すぐには戻れない人」「戻らない人」それぞれを支援する方針の確認・強化を重点としたほか、村内拠点の整備や営農再開への支援策などについても検討することとしています。

村主催のワークショップに加え、各行政区が独自に行ったワークショップや勉強会の席で出た意見・提案を交えながら、地区の代表と役場のコミュニケーション担当職員らが、具体的な事業提案や避難解除後の行政区の姿について意見を交わしました。

今後、復興計画の策定を支援している㈱三菱総合研究所が、区ごとのまとめを行い、2月に全体報告会を開く予定です。

### 全体報告会

2月20日(木)午後6時半  
県青少年会館

# 子どもたちのスポーツ指導に尽力

12/26

## 福島県スポーツ少年団創立50周年記念事業特別表彰伝達式



▲表彰伝達を受ける大内いづみさん(左)

12月26日に、飯野出張所で、「平成25年度福島県スポーツ少年団創立50周年記念事業特別表彰」の伝達式が行われ、八巻義徳教育長からそれぞれの受賞者へ表彰状が伝達されました。伝達式に出席した大内雄治さん、いづみさんご夫婦

(八木沢 芦原)は、多年にわたりランニングの指導を手掛け、村スポーツ少年団の指導・育成に貢献したことから、夫婦そろって功労者表彰を受賞しました。大内いづみさんは、「自分のできる範囲で、子どもが元気にスポーツできる環境を作っていきたい」と話していました。

受賞者は次のとおりです。

表彰内容	氏名(敬称略)
感謝状	原田 辰男 (深谷) 庄司 和明 (白石)
功労者表彰	三瓶 政美 (大久保・外内) 大内 雄治 (八木沢・芦原) 大内いづみ (八木沢・芦原)
優秀団表彰	飯館剣道スポーツ少年団

スポーツ少年団の表彰などを紹介します。



## 読書メッセージコンテスト 入賞作品紹介

### 飯館村教育長賞 (優秀賞)

「サマー・ランサー」



◆著者：天沢 夏月  
◆出版社：メディアワークス 文庫

渡邊 栞さん  
(飯館中3年)

自分が一番輝けるものって何だろう。私がこの本を読み終えて思ったことです。輝くって簡単そうでも難しいことなんだなあ、て。きっとこの本を読んだら自分もがんばろう、て、勇気がでると思います。

## 待ってたよ！こあら号



▲今日の読書タイムはこの本だよ！

移動図書館車こあら号は、各仮設住宅や公共施設等を巡回して本の貸し出しを行っています。平成25年12月に行われた「読書メッセージコンテスト」で入賞した本も貸し出ししていますのでお気軽に「こあら号」に足をお運びください。  
☎教育課生涯学習係 (024-562-4240)

## これまでのワークショップで出た意見・提案等 (代表的なもの)

- 山間地であり、農地の管理が困難。農地管理会社など農地の集約管理等が必要
- 畜産、花卉、水耕栽培、施設園芸、バイオ作物など、これまでとは異なる農業への転換を図ることで雇用が生まれるのでは
- 除染と併せた基盤整備の一体的実践など地区条件に即した除染ができないか
- 避難中に増えたイノシシやサル等の被害がひどく、農地の維持管理が大変
- 農地が汚染されて、以前のような自給自足的暮らしが安心してできない
- 田舎暮らしや環境先進地などをアピールし、他地域からの観光客や移住者を増やす取り組みができないか
- 帰村する住民が少なく、商業が成り立たないのではないかと心配
- 村に戻れない・戻らない人であっても、時には村に帰り、村の人々とつながりを継続させたい
- 村の将来を担う若い人が集まれる場や交流する機会があるかないか
- これまで村の伝統として継承してきた祭りや行事を保全・継続できるようにしたい
- 高齢者向け住宅、子ども・若年世代のための住宅など、村内に集って住めるようにしてはどうか
- 高齢者のみの世帯では、通院や買い物など生活のための移動手段の確保が心配
- 帰村後は、被災前と同じような生活ができないことから精神的ストレスが大きいだろう。心のケア対策が必要
- 防災放送、テレビの難視聴対策、インターネット通信環境の確保、携帯電話不通話地域の解消など通信インフラの整備・向上が不可欠
- 村の将来を考えるためには、20〜40代、10歳代など次世代の意見を聴きながら進める必要がある
- 必要な支援や対策は、その時にならないと分からないことも多いため、定期的な何度も意見把握を行うことが大切

